

ABEST21 eNEWS August 2009, No.13

ABEST21 理事長報告

- =====
- ・7月9日、2009年度認証評価の受審校のメンターを対象に、認証評価基準一部改正（案）のオリエンテーションをレイケイ南青山ビル会議室で実施しました。
 - ・7月16日、2009年度認証評価の受審校のメンターを対象に、認証評価基準一部改正（案）のオリエンテーションをレイケイ南青山ビル会議室で実施しました。
 - ・7月17日、ABEST21 経営委員会を開催し、8月8日（土）より4週にわたり実施される「マネジメント人材育成セミナー」の最後の調整をいたしました。
 - ・7月24日、平成21年度大学改革推進事業で選定された戦略的大学連携（青山学院大学、南山大学そして関西学院大学）の研究科長会議を開催しました。
 - ・7月28日、文部科学省高等教育局高等教育企画課に対して、認証評価基準一部改正（案）についての第2回目の説明をいたしました。
 - ・7月30日、名古屋の南山大学で京都大学、関西学院大学、そして南山大学の認証評価取組担当者を対象に、認証評価基準一部改正（案）と「認証評価計画」と「自己点検評価報告」作成のオリエンテーションを実施しました。
 - ・7月31日、文部科学省主催による学術総合センターで開催された「専門職大学院の教育の質保証の意見交換会」に出席し、ABEST21の「専門職大学院の認証評価の現状と課題」の報告をしました。

ABEST21 認証評価ニュース : No.13

- =====
- 1) 2008年度認証評価結果の経験を踏まえて、認証評価基準一部改正（案）について最後の調整をしています。各基準に「解説」をつけ自己点検・評価のギャップ分析を円滑に行えるように配慮いたしました。
 - 2) 2009年度第1回専門審査委員会を10月16日（金）にレイケイ南青山ビル会議室Aで開催します。9月30日（提出締切）までに提出される受審校のそれぞれの「認証評価計画」及び「自己点検評価報告」の実質的な審査を行う「ピアレビューチーム(Peer Review Teams)」の委員の選出を行います。

ABEST21 ニュース

- =====
- 1) 2009年度認証評価を決定する2009年3月の認証評価委員会を新日本製鐵株式会社のご厚意を得て新日本製鐵株式会社君津製鐵所で行うことになりました。
 - 2) ABEST21に新しいメンバーの入会がMembership Committeeで承認されました。新会員の紹介を次号で行います。
①School Membershipとして、インドの Pondicherry University、オーストラリアの University

of Newcastle, シンガポールの S.P.JAIN, Center of Management、です。

②Affiliate Membership として、ソニー株式会社と大学協同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所です。

- 3) 次に、ABEST21 が支援した青山学院大学（代表校）と連携校の南山大学と関西学院大学の戦略的連携プロジェクト「大学間連携によるマネジメント教育プログラムの質の共有化と相互評価システムの開発」が平成 21 年度大学改革推進事業で選定されました。このプロジェクトには、ABEST21、ABEST21 Affiliate Member の日産自動車株式会社、ソニー株式会社、東芝総合人材開発株式会社、日本商工会議所そして ABEST21 学校会員（海外）が調査事業等に協力していきます。
- 4) 2009 年 10 月 17 日（土）、学術総合センターで「マネジメント人材の力量国際調査」について国内外の英知の参加を得て、文部科学省平成 21 年度大学改革推進事業で選定された「大学間連携によるマネジメント教育プログラムの質の共有化と相互評価システムの開発」事業の一環として、第 1 回国際研究会を開催します。

ABEST21 会員校ニュース



・ 関西学院大学寄稿ニュース

新型インフルエンザ国内感染患者が発生した神戸に、5 月 15 日、「グローバルビジネスプロジェクト」(GBP) の米国学生 7 名が、2 週間にわたる現地調査と最終プレゼンのため、本学国際経営コースの学生 3 名とともに神戸市役所に参集した。GBP とは、米国の有力ビジネススクールが加盟する CIBER が昨年から実施している海外コンサル

ルティング教育の授業で、本専攻が日本側窓口となっている。

プロジェクトは（財）神戸都市問題研究所の「神戸歴史的建造物の維持・保存のためのファイナンス手法の開発」とチルド珍味メーカー（株）伍魚福の「伍魚福のブランド戦略の立案」であった。当初は、インフルエンザで GBP の実施自体が危ぶまれたが、その毒性が低いことが判明したために、野外活動も解禁となり、2 チームとも十全の活躍をすることができた。最終プレゼンでは、クライアントから「日本人ではできない発想で非常に参考になった」という好意的な反応を引き出すことができた。

（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科経営戦略専攻 教務学生委員 佐藤善信）

以上